

# 第166回「防災塾・だるま」

人的ネットワークによる  
防災まちづくりを提案

## 防災まちづくり談義の会



### 老練船長が語る「訓練で学ぶ防災・減災」



**概要：** 船は航海中、災害が起きた場合、陸上の支援を受けることは非常に困難です。そこで、船ではいろいろな災害を想定して定期的に訓練が行われています。訓練が防災・減災のために大きな役割を果たしていることを、実体験を通してお話します。

1973（昭和48）年、第4次中東戦争が勃発し、シリア・アラブ共和国ラタキア港で戦渦に巻き込まれた日本船に乗っていました。被弾炎上する船上で必死の消火活動が続けましたが、浸水による船体傾斜で消火不能となり、船長以下乗組員全員は救命艇で脱出しました。

突然戦渦に巻き込まれ、被弾、火災、浸水、船体傾斜など最悪の状況に遭遇しながらも乗組員全員が無事帰国できたことは、日頃実施されていた訓練の成果によるものと思われます。

海陸問わず、訓練の大切さを改めて訴えます。

消えゆく海水！北極海にて



Photo by Capt. Duke

海洋地球研究船「みらい」



被弾炎上、徐々に傾斜する船



傾斜する船から救命艇へ移乗

写真出典：関野三彦 1993年『山城丸炎上—あれから20年—』関西図書出版

**講師 赤嶺正治氏**：1967年日本郵船（株）入社、1995年原子力船「むつ」改造艦装船長、1997年海洋地球研究船「みらい」初代船長、2009年日本郵船歴史博物館館長代理、現在（一社）横浜海洋福祉協会副会長、大島商船高等専門学校客員教授、海事補佐人、工学博士

◆日時：2019年4月26日(金)  
16時～17時30分

◆会場：神奈川大学 24号館 310号室

◆参加費：無料（資料代100円）

◆申込不要（直接会場にお越しください）

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



正門



神奈川大学：正門でご確認ください

次回案内 開催日時：5月24日（金）16時～18時 場所：桜木町サクラリビング6階 第1研修室  
テーマ：講師：杉原英和氏 神奈川県総合防災センター長・消防学校校長